

[横浜市長浜ホール]
令和5年度業務報告及び収支決算
[横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体]

※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市長浜ホール
所在地	横浜市金沢区長浜114-4 長浜野口記念公園内
構造・規模	ホール棟：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）、地上2階・地下1階 旧細菌検査室：木造平屋建て
敷地・延床面積	ホール棟：建築面積 544.62 m ² 、延床面積 984.25 m ² 旧細菌検査室：建築面積・延床面積 96.69 m ²
開館日	平成9年5月22日

2 指定管理者

法人名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立共同事業体
所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表者	株式会社横浜メディアアド 代表取締役社長 三浦 彰久
設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の管理運営開始日	令和4年4月1日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

（1）基本的な方針

横浜市の文化政策の背景、および施設の立地している金沢区の現状を踏まえ、また、当事業体が3期15年にわたり培ってきた実績を鑑み、第4期のビジョン（目指すべき姿）を「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」と策定しました。コロナ禍にあって、文化施設は「文化芸術が困難な時期にポジティブに立ち向かう方法を提供する場」であることを再認識させられました。文化芸術を活用して地域に交流と活性を創出することが長浜ホールの果たすべき役割であり、存在意義です。

そのためには安定的な利用者層を確保し、文化芸術の担い手、理解者を増やすことが必要です。そのことからビジョン実現のためのミッションとして「地域の交流・活性と文化芸術の新たな担い手を創出する」を掲げました。ミッション達成のため、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の6つの方針で長浜ホールの管理運営に取り組みます。

【基本方針】

ビジョン：「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」

ミッション：「地域の交流・活性と文化芸術の新たな担い手を創出する」

- 方針1 利用者づくりを強化・推進する
- 方針2 歴史的建造物の保存・活用に地域のネットワークを活用する
- 方針3 参加型事業で担い手を育成し、市民の交流を促進する
- 方針4 ユーザビリティの検証と利用者拡大のための各種サービスを検討する
- 方針5 オンラインの環境整備を進める
- 方針6 安全・安心を優先して運営します

（2）令和5年度の業務の振り返り

ア 全体について

令和4年度より利用者も増加し、新たな利用者も増加してきたことが確認できました。施設の美観を維持することに努め、コンサート等で来場された方々からも高評価を得ることができました。

また、他施設との共催事業もあり交流が図ることができ、多数の来館者がありました。

アンケート回収率も70%を超えており、内容が好評であったというお声を確認できました。

イ 使命1 文化芸術の活動と体験の場になる

貸館業務については、事故もなく利用者とコミュニケーションをとり、諸室の要望など聞き、職員と共有しました。

事前に利用者との相談を行い、当日はスムーズな公演を実施することができました。

自主事業では毎回アンケートを取り、毎回70%程度の回収ができます。アンケートからいただいたお声を生かし、客席のレイアウトを変更しました。その結果、好評のお声をいただいているいます。

ウ 使命2 歴史的建造物を活用し魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介とし地域の力を結びつける

野口英世フェアでは、延べ約200人が来場され、今回はラテンジャズコンサートで75名入場がありました。野口英世博士への手紙コンテストの応募総数については、55件あり、「母から声の手紙」を展示しました。初めての来場者も多く、今後のイベント集客に期待できる結果を得られました。

夏休みこども体験教室や夏休みファミリーコンサートを実施し、大人も子どもも楽しんだイベントを実施できました。

生涯学習フェスティバルでは、普段当館を使用されない団体に参加していただいたため、今後は、来館者の増加やコンサート利用に繋げていきます。

エ 使命3 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む

当施設をご利用の個人・団体の方によるコンサートを複数回実施し、参加者同士の交流も深まり新しい展開になっています。また、個別に要望やご意見など聞く機会として活用もしています。

学校プログラムでは、金沢区内の小中学校3校を対象とした音楽・美術・演劇・ダンス・伝統芸能などの課外授業活動の協力をしました。毎年参加の学校も多くプログラム実施に期待感が高く様々なアーティスト用意し、要望に添うように企画立案を行っています。

オ 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

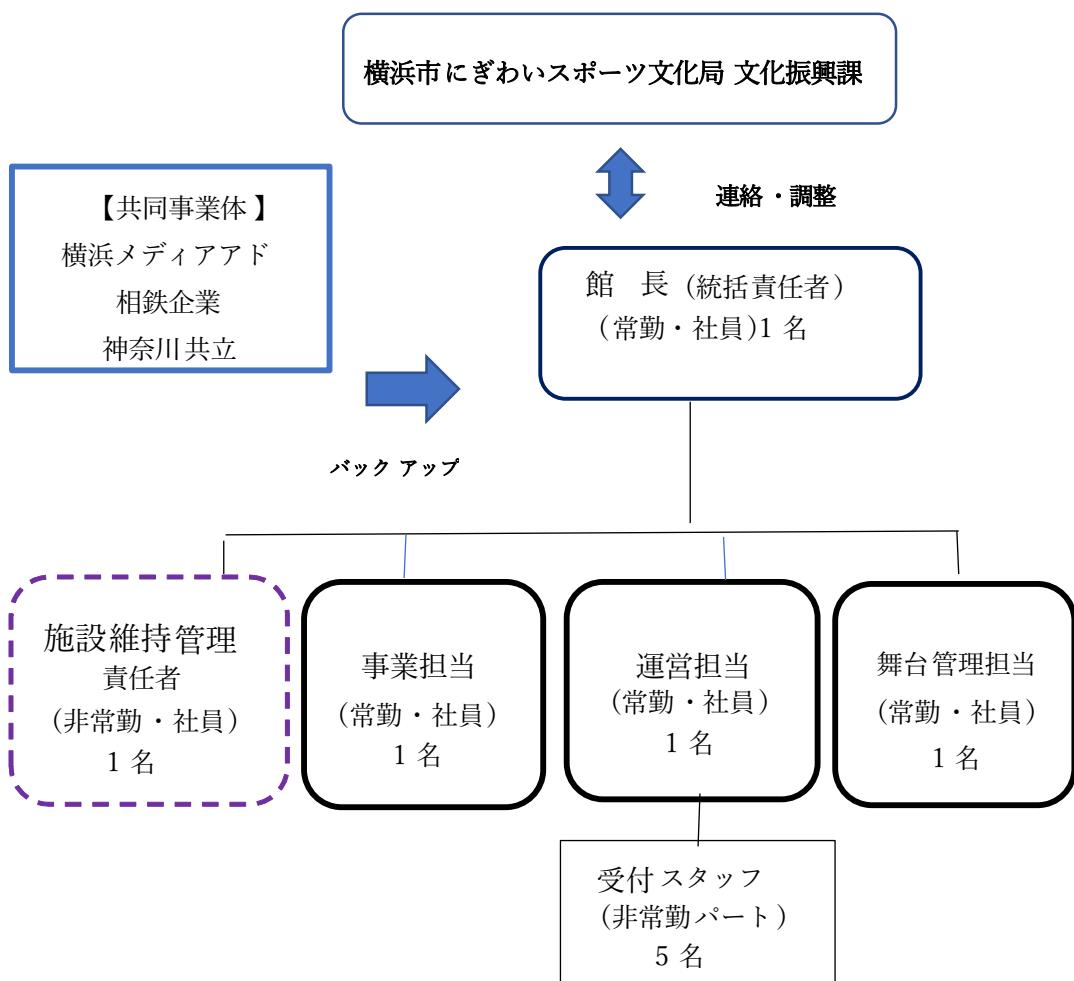
利用者に気持ち良く利用して頂くために日々の清掃を実施し、特にピアノは利用後に指紋など残らないよう丁寧に対応しました。利用の無い諸室の消灯や冷暖房の効率の良い運転、湿度や温度の管理を行うことで経費の削減に取り組みました。

利用者とは、スタッフとのコミュニケーションも取れています。

カ 使命5 新型コロナウィルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

ホール及び諸室の定員数もガイドラインに沿って利用者に告知を実施し、諸室利用終了後には、職員による設備の消毒作業を実施しました。

4 運営組織の構造、人員配置



本施設の運営組織は、指定管理施設運営のスペシャリストである横浜メディアアドが統括責任者である「館長」をはじめ、事務系職と文化事業を企画する事業等を担当し、高度で総合的な施設管理のスペシャリストである相鉄企業が施設維持管理や清掃業務を、舞台美術のスペシャリストである神奈川共立が舞台管理を担当します。

3社の協業体制のもと、各担当職員には文化事業の企画実施・施設運営・施設管理に幅広い知識と実績を持つ人材を配置し、施設の基盤づくりに尽力します。

また、職員と受付スタッフとの協働体制を確立させ、「専門性」と「地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたります。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

令和5年度はコンサートやワークショップの制限緩和に努め、たくさん的人が気軽に来ることのできるイベント開催を重点的に取り組みます。

(2) 集会や講演会利用への施設の提供

令和5年度は利用者、来館者の立場に立ち、ユーザビリティの検証から始め、施設利用の拡大に重点的に取り組みます。

(3) 施設運営

令和5年度は文化施設運営の専門能力を有する職員と地域から登用したスタッフとの共同体制の下、「専門性」と「市民・施設利用者・地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたり、持続可能性を高める管理運営に努めます。

(4) 施設管理

施設の状態を常に良好に保ち、安全かつ快適に利用することができるよう適切な管理を行います。感染症対策はガイドラインの動向に寄り添いながら、これまで培ってきた知見を最大限活用して実施します。施設及び設備の維持保全及び修繕については、利用者、来館者が安全かつ快適に利用できるように適宜適切に取り組むとともに、大きな修繕については、横浜市と十分協議を進めながら施設及び設備の長寿命化の視点で計画立案します。

(5) 収支

令和5年度は空き室を少なく、貸館利用者を増やし、指定管理料に依存しない収支構造に取り組みます。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

令和5年度は、計画書、月報、報告書の具体的且つ簡潔な記載により、分かりやすく業務評価に繋げていきます。

(7) その他

令和5年度は、ガイドラインと施設の現況をすり合わせながら、新型コロナウィルス感染予防に努めます。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術の活動と体験の場になる。

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	貸館利用率	ホール	80%	75%	83%	—	78%	—
		会議室	23%	47%	24%	—	48%	—
		多目的ルーム	54%	59%	55%	—	60%	—
		音楽練習室	77%	89%	83%	—	90%	—
2	総来場者数	23,235人	34,400人	28,138人	—	—	35,400人	—
3	貸館利用者の新規利用率	10%	1年目+1%	12%	—	—	1年目+4%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者野状況についての現状把握	R 4 実績	イベント等でのアンケート実施
		R 5 達成指標	アンケート等で現状把握ができている
		R 5 実績	イベントアンケートや直接対話で現状把握 「諸室はいつも綺麗に準備されていて練習に集中できた。」、「ホール利用者からは舞台担当や職員が親切に対応してもらい気持ちよく利用できた。」など好評のお声をいただいた。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で把握した内容を現状に活かしている
		R 8 実績	—
2	40歳以下の利用者比率	R 4 実績	18% 発表会出演者を含む
		R 5 達成指標	アンケート等で全体の 20%を確認
		R 5 実績	20% 発表会出演者を含む
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で全体の 30%を確認
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 事業開催時等でアンケートを実施する。
- ② 利用者懇談会や利用相談等で意見を聴取する。
- ③ 上記で得た結果を解析し、利用者や事業参加者の現状・ニーズを把握して、職員間で共有する。

(2) 使命2 歴史的建造物の魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介に地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業数	4本	4本	4本	—	—	5本	—
2	地域の施設・団体等と共に連携して実施する事業数	1本	1本	1本	—	—	2本	—
3	長浜ホール賛同団体公募の実施	0	5団体	2団体	—	—	10団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績						
		R 4 実績	見学ノートの定期点検と清掃					
1	建築物について歴史的建造物としての適切な保存・管理	R 5 達成指標	見学者ノートでの好意的な意見 80%以上					
		R 5 実績	見学者ノートを毎週確認し、「旧細菌検査室を保存していることに感謝している」や以下の内容について、見学ノートに記録があった。 「野口英世が実際にこの場所に居た事に驚いた。」、「歴史的な建造物の保存は大変だと思う。」、「コンサートの後で寄ってみたがこんな素晴らしい施設がある事に感動した。」、「スタッフが色々な話をしてくれて感謝。」など					
		R 6 実績	—					
		R 7 実績	—					
		R 8 達成指標	見学者ノートでの好意的な意見 80%以上					
		R 8 実績	—					
		R 4 実績	生涯学習フェスティバル金沢区との共催（ホール11団体・ホワイエ4団体・多目的ルーム5団体）					
2	地域等の施設・団体等との連携状況のレポート	R 5 達成指標	1本					
		R 5 実績	生涯学習フェスティバル金沢区との共催（ホール11団体・ホワイエ4団体・多目的ルーム5団体）					
		R 6 実績	—					
		R 7 実績	—					
		R 8 達成指標	3本					
		R 8 実績	—					

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業を開催する(野口英世フェア、野口英世博士への手紙コンテスト、夏休みこども体験教室)。
- ② 地域の施設、団体と連携した事業を開催する(夏休みファミリーコンサート、生涯学習フェスティバル)。
- ③ 延期していた長浜ホール賛同団体の公募を開始する。

(3) 使命3 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	事業参加数に対する継続的な近隣住民の割合	75%	40%	78%	—	—	50%	—
2	学校プログラムの実施数	3校	3校	3校	—	—	4校	—
3	参加・体験型事業への総参加者数	80人	150人	90人	—	—	200人	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	事業参加者、子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	学校プログラムによって音楽・芸術に興味を持つてもらう。「オペラを初めて目の前で聞いて感動した」・「等身大の自画像を制作し大きくて楽しかった」・「自分たちで作詞作曲をして卒業式で発表した。」など保護者からも感謝の声を頂いた。
		R 5 達成指標	アンケート等に寄せられた感想等を通して特に子どもたちが文化芸術分野に興味を持った様子を把握できている
		R 5 実績	学校プログラム3校・近隣の小学校では学年単位で見学2校・夏休みこども体験教室開催・夏休みファミリーコンサートなど開催・キッズダンススクールを開催
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	学校から文化芸術の体験やアウトリーチを望む声が長浜ホールに寄せられている
2	事業参加者の交流の度合い	R 4 実績	ゴスペルワークショップ参加者同士の交流が深まり合唱にも良い影響が出ている。
		R 5 達成指標	アンケート等で参加者同志の交流が深まったとの回答50%
		R 5 実績	ゴスペルワークショップ前期・後期で49名参加。前年度からの継続60%。キッズダンススクール前期・後期で15名参加
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で参加者同志の交流が深まったとの回答80%
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 幅広い世代、年齢層が参加可能なワークショップ型の事業を企画し、実施する(ゴスペルカラスワークショップ)。
- ② 近隣地域で活動中のアーティストによるコンサートを行い、活動を支援する(TABUNOKI ミュージックテラス)
- ③ 施設にゆかりのアーティストを小学校に紹介する学校プログラムにコーディネーターとして参加する。

(4) 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0	0件	0	—	—	0件	—
2	法定点検の実施率	100%	100%	100%	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	100%	90%	100%	—	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績						
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—					
		R 5 達成指標	施設利用者へのアンケート回収時に利用者の協力を得られる場合はヒアリングを行っている。					
		R 5 実績	施設利用受付時と終了後にヒアリングの実施					
		R 6 実績	—					
		R 7 実績	—					
		R 8 達成指標	施設の使用状況について利用者に行ったヒアリングの内容のうちのうち必要と判断される案件に対し迅速に対応できている。					
		R 8 実績	—					
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	光熱費の高騰や経年劣化による修繕費の増加など不確定要素が多く毎月の予算と実績の検証を行う。					
		R 5 達成指標	年度ごとの仮決算で、予算と差異が生じた管理運営費すべてについて要因分析と改善策検討を行っている。					
		R 5 実績	光熱水費・修繕費・備品費の増減原因を分析し6年度の予算を考察する					
		R 6 実績	—					
		R 7 実績	—					
		R 8 達成指標	第四期指定管理期間の管理運営費の推移の中で変動のある科目について要因を分析し改善案を策定する。					
		R 8 実績	—					
3	設備機器の予防保全のための施設巡回点検を行う	R 4 実績	毎月の定期点検と重要個所は日々の巡回チェック					
		R 5 達成指標	毎月1回予防保全関連のスーパーバイザーによる施設巡回点検を職員立ち合いのもと行う。					
		R 5 実績	毎月の定期点検とスーパーバイザーによる施設巡回点検を職員立ち合いで行う。					
		R 6 実績	—					
		R 7 実績	—					
		R 8 達成指標	毎月1回予防保全関連のスーパーバイザーによる施設巡回点検により、利用者が快適に施設を使用できる状態を保つ。					
		R 8 実績	—					
		R 4 実績	週3回の室内外の清掃、年6回清掃業者による機械清掃					
		R 5 達成指標	週3回の清掃員による清掃と年6回の清掃業者による作業、及び職員の日頃の清掃・点検により施設の美観が保たれている。					

4	美観維持のための清掃	R 5 実績	週 3 回の清掃員による清掃、年 6 回の清掃業者による機械清掃。日々の職員による点検清掃により施設の美観が保たれている
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	施設の美観が保たれ、美観についてのクレームがゼロになる。
		R 8 実績	—
5	経費節減を意図した不具合対応	R 4 実績	軽微な不具合は職員による修繕を実施している
		R 5 達成指標	施設の予防保全のための不具合箇所の早期発見
		R 5 実績	施設設備の不具合は日々の目視点検をして、軽微なものは職員が修繕している
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	不具合箇所の早期発見が予防保全をもたらし経費節減につなげる。
6	長寿命化のための設備機器点検	R 4 実績	日々の点検を行い設備スタッフとのミーティングにより修繕箇所の確認と順番を決め長期的な計画を立てる
		R 5 達成指標	設備等維持管理項目一覧に沿い、計画的な管理を行う。
		R 5 実績	設備担当との細部にわたるミーティングで計画的な修繕計画を行っている。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	計画的管理を行うことで施設の長寿命化が図られている。
		R 8 実績	—

ウ 使命 4 を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 施設使用状況について利用者からヒアリングを行い、必要な案件を整理する。
- ② 毎月 1 回のスーパーバイザーによる施設点検を、職員立ち合いのもと実施する。
- ③ 設備等維持管理項目一覧に沿い、計画的な管理を行う。

(5) 使命5 新型コロナウィルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	感染予防対策を講じての自主事業の実施		80%	R4年 実施数 +1件	100%	—	—	R4年 実施数 +1件	—
2	感染予防対策を講じての貸館事業の継続	貸館利用率	ホール	80%	75%	83%	—	78%	—
			会議室	23%	47%	24%	—	48%	—
			多目的ルーム	54%	59%	55%	—	60%	—
			音楽練習室	77%	89%	83%	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		R 4 実績	R 5 達成指標
1	ガイドラインに沿って感染症対策を行う	R 4 実績	感染症対策を行い、職員・利用者の感染者数0
		R 5 達成指標	感染症対策を行い、感染者数ゼロを目指す。
		R 5 実績	感染症対策を十分に行い、当館発祥の感染者数0
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	感染症対策を行い、感染者数ゼロを目指す。
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 日常的に飛沫防止、換気対策、消毒等感染症対策を施し、安全な利用ができる状況を確立する。
- ② 事業実施の際には消毒、集客人員の設定、飛沫防止等感染症予防対策を充分に施し、感染者数ゼロを目指す。

令和5年度 「横浜市長浜ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	37,451,000		37,451,000	37,451,000	0	横浜市より 賃金スライド含む
利用料金収入	7,080,000		7,080,000	6,538,700	541,300	
自主事業収入	1,990,000		1,990,000	2,704,136	714,136	ホール外事業・学校プログラムを含む
			0		0	
雑入	497,000	0	497,000	372,695	124,305	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	180,000		180,000	104,595	75,405	
			0		0	
その他(撮影料他)	317,000		317,000	268,100	48,900	
収入合計	47,018,000	0	47,018,000	47,066,531	48,531	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,029,000	0	24,029,000	24,796,192	767,192	賃金スライド含む
給与・賃金	24,029,000		24,029,000	24,796,192	767,192	共同事業体職員、パート職員給与
社会保険料			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
通勤手当			0		0	上記に含む
健康診断費			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
事務費	2,400,000	0	2,400,000	2,463,124	63,124	
旅費	95,000		95,000	20,266	74,734	
消耗品費	100,000		100,000	204,000	104,000	
会議賄い費	12,000		12,000	5,037	6,963	
印刷製本費	150,000		150,000	73,150	76,850	広報・宣伝費含む
通信費	690,000		690,000	548,167	141,833	ホームページ管理費
使用料及び賃借料	82,000	0	82,000	81,840	160	
横浜市への支払分	82,000		82,000	81,840	160	目的外使用料
その他			0		0	
備品購入費	330,000		330,000	540,821	210,821	
図書購入費	10,000		10,000	10,000	0	
施設賠償責任保険	35,000		35,000	35,400	400	
職員等研修費	10,000		10,000	10,000	0	
振込手数料	0		0	6,803	6,803	
リース料	876,000		876,000	921,140	45,140	令和4年実績より
手数料	0		0		0	
地域協力費	10,000		10,000	6,500	3,500	
事業費	2,500,000	0	2,500,000	2,248,258	251,742	
自主事業費	2,500,000		2,500,000	2,248,258	251,742	学校プログラム等経費を含む
			0		0	
管理費	17,957,200	0	17,957,200	15,692,491	2,264,709	
光熱水費	7,509,200	0	7,509,200	6,381,598	1,127,602	
電気料金	3,946,800		3,946,800	3,615,552	331,248	
ガス料金	2,762,400		2,762,400	2,166,636	595,764	
水道料金	800,000		800,000	599,410	200,590	
清掃費	4,432,000		4,432,000	4,432,000	0	
修繕費	1,700,000		1,700,000	1,193,123	506,877	
機械警備費	594,000		594,000	594,000	0	
設備保全費	3,722,000	0	3,722,000	3,091,770	630,230	
空調衛生設備保守	528,000		528,000	528,000	0	
消防設備保守	198,000		198,000	198,000	0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	2,996,000		2,996,000	2,365,770	630,230	舞台保守費含む
共益費	0		0		0	
公租公課	10,000	0	10,000	0	10,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	10,000		10,000	0	10,000	
その他()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	121,800	0	121,800	121,800	0	
本部分	121,800		121,800	121,800	0	本社費、所管課及び総務・人事・経理他関係費として計上
当該施設分			0		0	
支出合計	47,018,000	0	47,018,000	45,321,865	1,696,135	
差引	0	0	0	1,744,666	1,744,666	